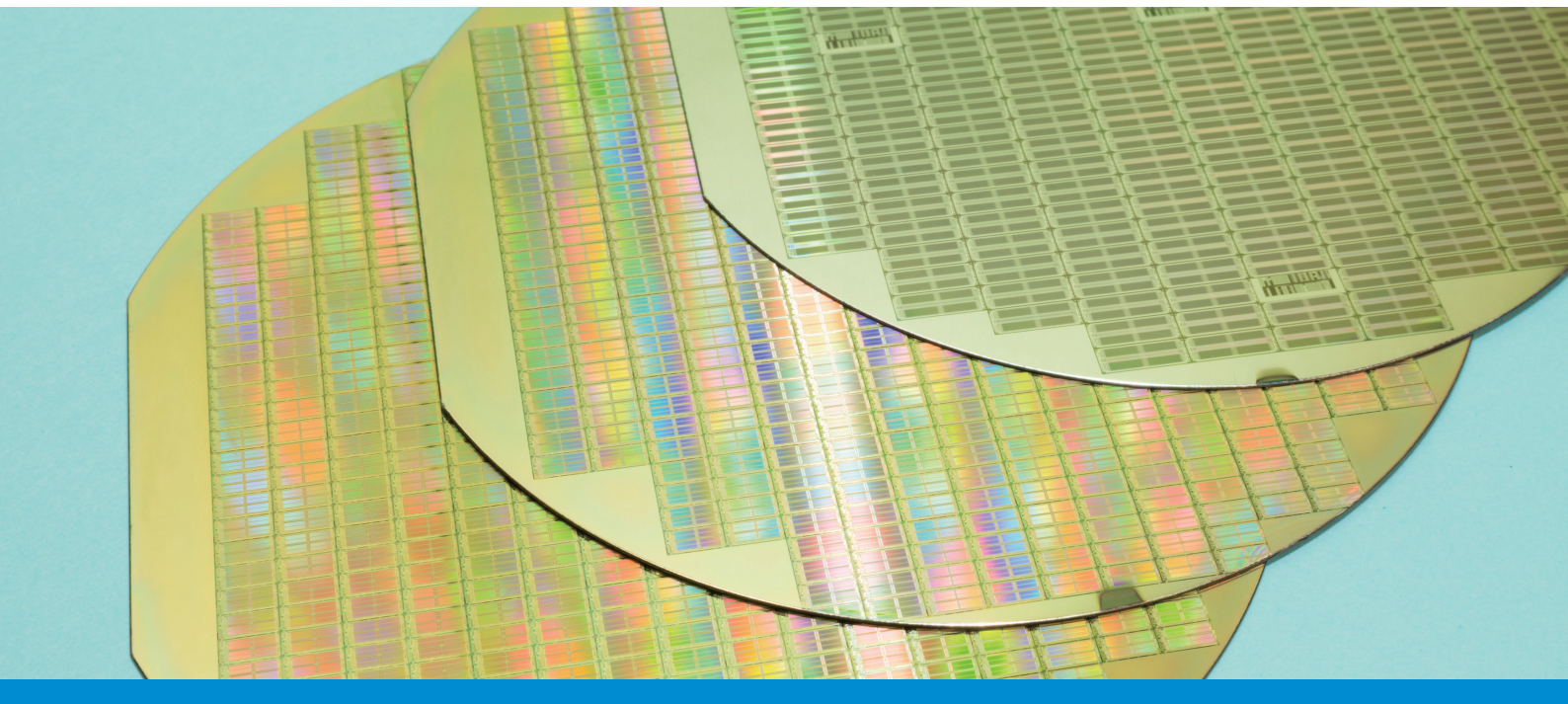




sinto SURFACE TECMART



事業内容

鋳物の砂落としや製品のバリ除去からはじまった私たちの表面処理技術は、時代のニーズや産業構造の変化に対応することで進化し続けてきました。

素材表面に機能を「つくる」技術から表面機能を「視る」技術へ、お客さまのニーズを超えた魅力ある「表面処理をトータルに」を目指し、3Dによるシミュレーションや表面の評価技術、さらには情報技術を活用した取り組みを推し進めています。

私たちは、暮らしやすい社会を実現する“魅力ある表面”で、『ものづくり産業を支える技術の提供』を通じて、表面を変え、未来を守り、未来を創ることにより、今後も産業の発展に貢献し続けていきます。

リスク

- 新型コロナや半導体などの部品不足による経済成長の鈍化に伴う売上および収益への影響
- スクラップ価格高騰による、投射材製造におけるコスト上昇
- 鋼材の仕入れ価格高騰

機会

- 次世代自動車や航空宇宙、エネルギー、医療関連など成長が見込まれる幅広い市場での表面処理ニーズの増大
- DXの実現に向けた電子部品、電子デバイスの需要増加
- 建設市場を中心としたインフラ関連の需要増加
- 製品・部品のコンパクト化に伴う微細・精密加工の需要増加

中期経営計画1/3を経過して 主な取り組みおよび進捗

表面処理事業は、「魅力ある表面づくり」の提案により、さまざまな業種の表面処理に関する課題を解決し、お客さまの生産をサポートしていきます。

電子・半導体分野に向けた取り組み

新しい市場への取り組みとして、電子部品・精密部品業界向けに微細加工ラインのトータルエンジニアリングの展開を開始しました。「マイクロブラスト工法」と呼ばれる技術を追求することで超微細な加工を実現しています。主にシリコン、ガラス、セラミックスなどの電子部品材料に加工を施します。従来電子部品に対する加工は、ドリルやレーザによる加工が主流でしたが、ドリルでは多数の穴加工で時間がかかることと複雑な形状が苦手であり、またレーザでは熱による溶融ダレやクラックが発生する可能性がありました。マイクロブラストは、広い面積を一括加工できるとともに、冷間加工であるため熱による影響を受けず高精度な加工を実現します。さらには、ブラスト工程をトータルでエンジニアリングできることにより、電子部品業界を対象に、微細精密加工ラインすべての提案が可能になったほか、当社の加工拠点による「請負加工」についても対応が可能になりました。

グローバルで伸ばす市場

「ピーニング」「ダイカスト」をターゲットに自動車の省エネや電動化、部品の軽量化といったお客さまの課題解決に取り組んでいます。表面づくりのニーズに合わせた多種多様な商品を取りそろえ、各地域別の拠点から供給できる体制を構築するとともに、グローバルに展開するお客さまに対して、情報技術を活用したタイムリーなサポートにより、事業規模の更なる拡大を狙います。

カーボンニュートラルへの提案

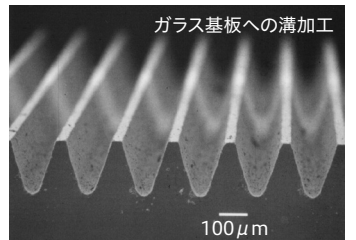
表面加工した製品のインライン全数検査と個別品質管理に加え、最適条件を視える化できる商品により、過剰処理から最適処理に移行して加工時間を短縮し、CO₂排出量削減と生産効率向上を実現しています。品質の視える化によるカーボンニュートラルの提案を強力に推進していきます。

お客さまにより近く、表面処理を身近に

検証テストを通じてお客さまに適した表面を創り出すための技術的な相談を行うプロセス提案に注力しています。技術拠点であるブラストテクノロジーセンター（愛知県）とのデータリンクにより、最適な加工処理とその遠隔監視、品質評価によるプロセス提案が可能となるバーチャルテクニカルセンターを立ち上げました。現在は「横浜加工センター」、「明石加工センター」の2拠点を加え、全国どこでも同一の技術サポートをお客さまへ提供することを目指しています。



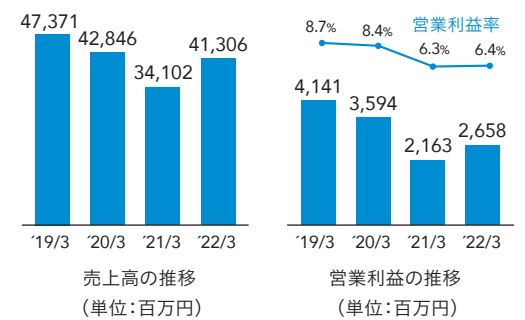
製品内部の状態を視える化
(渦電流非破壊検査装置)



高精度で高品位な微細加工が可能
100μm

2021年度の業績

売上高は、インフラ・建機業界、パネ業界において表面処理装置が堅調に推移したことと、半導体の旺盛な需要による電子関連向けや感染症により停滞していた自動車産業をはじめとした様々な業界で生産活動が回復したことにより、部品や消耗品の売上が増加し、前期比7,203百万円増加の41,306百万円(同21.1%増)となりました。営業利益は、消耗品や部品の増収要因により同495百万円増加の2,658百万円(同22.9%増)となりました。なお、受注高は同8,166百万円増加の41,918百万円(同24.2%増)、受注残高は同625百万円増加の6,019百万円(同11.6%増)となりました。





sinto FOUNDRY INTEGRATION



事業内容

鑄造事業の目指す姿は、地域・工場で働く人の幸せとお客さまが喜ぶ鑄物づくりへの貢献、そして鑄造工場の特徴を活かしたSDGs 基軸の商品開発を行っていくことです。

「産業の米」と呼ばれる鑄造は、多くのものづくりの基盤と人々の豊かな暮らしを支えています。日本で国産第一号の造型機を作ったことから始まった当社の事業は、鑄物製品に高付加価値を与える独創的な技術、Vプロセスや静圧、エアレーションなどを開発し、世界の鑄造業界をリードし続けています。

資源循環型の鑄物づくり、自動化技術やIoTの活用による省人化・働きやすい環境づくりを通じ、「環境負荷の軽減や工場で働く人の幸せとお客さまが喜ぶいい鑄物づくりへの貢献」に向けた取り組みを続けていきます。

リスク

- 自動車の電動化に伴う国内鑄物需要の低下
- 少子高齢化の進展や、重筋・高熱作業への抵抗感の高まりによる国内労働力不足
- 原材料・エネルギーコストの高騰

機会

- 鑄物の軽量化、カーボンニュートラルの取り組み加速による省力化対応の需要増加
- 生産性向上・作業効率向上に向けた自動化対応商品の需要増加
- 新興国などにおける需要増加

中期経営計画1/3を経過して 主な取り組みおよび進捗

鑄造事業は、お客さまの鑄物製品に高付加価値を与えるため、圧倒的に差別化された技術開発による商品展開が重要なポイントです。製造工程では、製作時間の短縮や原価低減を計画的に行うことに加え、効率よく生産できるユニット化対応など、基本設計を常に見直すことで、目標達成を目指しています。

鑄造分野におけるオンリーワン企業へ

これから成長が期待できる新興国において、ローカル企業との競争に勝ち抜くために、競争力のある商品群を強化し、個々の工場ニーズに対応していくことが重要です。新しい商品を開発することでができれば、全世界でオンリーワン企業として認めてもらえると考えております。市場での圧倒的な優位性確保に向け、付加価値提案を推進してまいります。

デジタルを活用した鑄物品質の向上 ～SINTO SMART FOUNDRY®の展開～

鑄造工程のリアルタイム監視・製造条件のトレーサビリティなど見える化のニーズが高まり、現在、生型造型の工程に監視システムや品質トレーサビリティに対応できる商品を揃え拡販を計画しています。

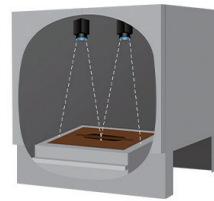
特に「いい鑄物づくりへの貢献」に向けて、新機能の商品として、新たなセンシングの追加やIoT化対応商品を継続的に開発、市場投入を順次実施しています。これらの全体システムをSINTO SMART FOUNDRY®と呼び、生型ラインの砂処理、造型、注湯などの各工程での見える化商品(Good Casting System®)を主体に拡販を計画中です。

2021年度は従来から拡販を強力に進めてきた結果、成約も着実に伸びてきています。生型造型工程ではレーザーで鑄型に直接刻印ができるユニットを開発し、その1号機を納入しました。今後トレーサビリティの精度向上や不良対策をより効率よく解析できる装置として販売していきたいと考えています。このような市場ニーズに対応できる商品を、高品質でより早く安く造ること、利益率向上に貢献していきたいと考えています。

【 SINTO SMART FOUNDRY® 商品の一例 】



鑄物砂の状態を適正管理
(インライン生砂特性自動計測装置)



鑄型形状の良否を全自動で確認
(型落ち検出装置)

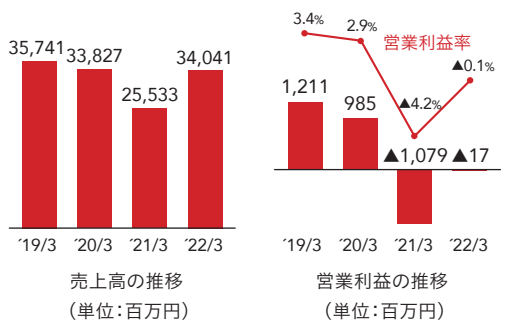


鑄型の強度の良否を自動判定
(鑄型強度検知装置)

2021年度の業績

2021年度は、大型プラント案件が堅調に推移しました。また、これまでコロナ禍で海外への現地指導員派遣が困難でしたが、オンライン技術を活用した遠隔指導などの企業努力により、売上高は前期比8,507百万円増加の34,041百万円(同33.3%増)となりました。営業損益は、原材料やエネルギーコストの上昇影響はあったものの、増収に伴う赤字幅縮小により17百万円の損失(前期は1,079百万円の損失)となりました。

なお、受注高は前期比5,707百万円増加の38,137百万円(同17.6%増)、受注残高は同3,576百万円増加の25,926百万円(同16.0%増)となりました。





sinto WELLNESS CREATION



事業内容

世界中のあらゆる地域で作業環境の改善、エネルギーや材料資源の有効活用、循環利用が当たり前となった現代。私たちは集塵やガス処理、水処理など公害防止から始まった事業の枠を広げ、働く人が安全で健康に活動できる環境の実現、更には快適な空間づくりに取り組んでいます。

近年、働く人の作業環境改善の欲求が高まり、働く人の安全と快適性まで求められており、より安心・安全で快適な環境を実現するソリューションは今後さらに重要度を増すと思われます。

一方で現代では、エネルギーや資源の有効活用、循環利用への取り組みも不可欠です。私たちは必要最小限のエネルギーで安全で快適な作業環境を実現させることや、さらには従来廃棄されていた物や空気、水の再利用にも注力し、快適さを創出していきます。また、作業環境の一つに「床」がありますが、安全性・作業性・意匠性の高い床、空間価値を高める床など、独自商材の上市も目指しており、作業者にとって安心、安全、快適な環境を提案・提供し続けていきます。

これからも豊かな地球環境を未来に残すため、3Rへの取り組みなど、更なる付加価値の実現に向けた挑戦を続けていきます。

リスク

- 環境意識の高まりからの他社参入による競争の激化
- 原材料費・エネルギー費の高騰、電気・電子部品の入手困難

機会

- カーボンニュートラル実現に向けたCO₂排出量削減・省エネルギー・廃棄物削減に対する機運の高まり
- 環境規制対応による企業の対策需要増加
- 働く人の安心・安全・快適な環境ニーズの高まりによる対応商品の需要増加
- 火災・爆発などの企業リスク対応の需要増加

中期経営計画1/3を経過して 主な取り組みおよび進捗

環境事業は、より多くの働く人の安全・健康と快適な作業空間の実現を目指しています。中期経営計画で新しい売り方によるビジネスモデルの形成、収益率の向上を目指して施策を展開しています。従来の装置販売をコアにした集塵、ガス処理といった機械単体販売から、火災対策システム、マスクレス環境の提供や、排気・排出物の再利用といったシステムでの商材提供により、「お客さまの欲しい環境の実現」を目指します。そのためにも、商材の拡充、お客さまが選びやすい商品の提案方法などの仕組みづくりに取り組んでいます。

また、3Dスキャンシステムを活用した現場測定業務の削減や協力会社との重複内容の削減、現場工事や試運転工程の削減に向けた取り組みを部門横断的に推進しています。

火災対策ブランドの確立に向けて

従来実績の少なかった「電気・電子」「化学」「食品」といった業界に対して、火災対策システムなどをPRすることで、商品の認知度向上による業界シェアの拡大を図っていきます。加えて、マスクレス環境を提供するため作業環境の見える化を図る商品開発を推進し、新たな商品の市場投入につなげていきます。

また、爆発性粉じんの清掃にお困りであったお客さまにお応えするために、着火源対策をした移動可能でファンモータを使用しない装置を展開し、万が一爆発が発生した場合の被害最小化と作業者の安全確保につなげていきます。さらに、レーザー加工によるヒュームや粉塵を処理する大容量の集塵機の取り組みを進めております。

床事業の拡販推進

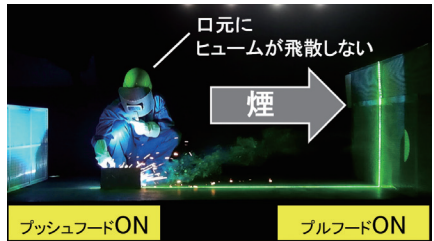
自動車関連工場のAGVやフォークリフトの運用面での困りごととして課題のあった塗床の剥がれ・割れによるがたつきやタイヤ痕対策として、平滑・耐摩耗性を評価いただき、拡販につなげることができました。また、当磨き床は、静電気の発生を抑えることで火災対策にも貢献しています。



粉じん爆発対策型エア式
バキュームクリーナ



火災対策システムアイテム
難燃性フィルタ

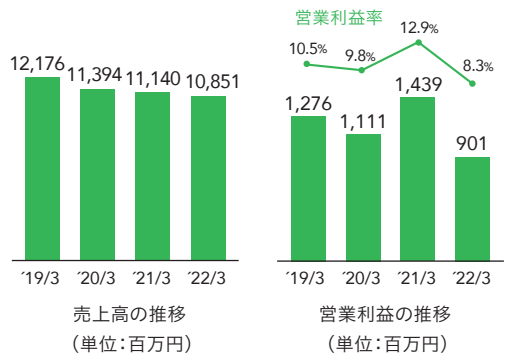


火災対策システムアイテム
プッシュプル型フード

2021年度の業績

売上高は、汎用集塵機、メンテナンス、部品は増加しましたが、集塵装置、排ガス浄化装置、水処理装置の大型装置の減少影響により、前期比289百万円減少の10,851百万円(同2.6%減)となりました。営業利益は、減収要因に加え、原材料価格高騰や電子部品等の調達コストアップにより同538百万円減少の901百万円(同37.4%減)となりました。

なお、受注高は集塵機が付帯する新規製造大型案件等の成約により同1,186百万円増加の11,234百万円(同11.8%増)、受注残高は同576百万円増加の4,489百万円(同14.7%増)となりました。



搬送事業



事業内容

搬送事業には、マテリアルハンドリング技術でモノとモノをつなぎ、人と人をつなぎ、ひいてはお客さまと当社グループが未来に向かってつながっていききたいという想いが有ります。

少子高齢化、コロナ禍において、今後も国内の労働者不足は深刻度を増していくものと思われます。これまで培ってきた技術に、画像処理技術やロボット技術を応用することで、マテリアルハンドリングの自動化、トラックヤードの合理化に貢献しています。さらに、急速落下防止リフトやセーフティなコンベヤなど、働く人の安全に配慮した商品の開発・提供にも力を入れています。

今後も、当社グループの技術を駆使し、生産性、安全性の向上など、マテリアルハンドリング全般におけるお客さまの未来につながるご提案を行っていきます。

リスク

- 景気変動による事業収益への影響大
- 自動化・無人化ニーズへの技術力確保

機会

- 通販需要の増加による大型物流センターや倉庫の建設需要増加
- フレキシブルに対応できるブロックモジュールコンベヤの需要増加
- トラック運転手不足に伴う荷積み荷降ろしの省人、省力化ニーズの拡大

中期経営計画1/3を経過して 主な取り組みおよび進捗

ホワイト物流への貢献「トラックヤードの合理化」

近年、「ホワイト物流」というコンセプトで作業環境の改善が図られていることも追い風となり、トラックへの積み込み・荷降ろしを安全に効率的に行える「トラックヤードの合理化装置」の需要が年々高まっています。当社では、全自動から手動で扱う装置まで、多様なラインアップを取り揃え、お客さまの環境に即した提案をしています。

全自動で荷降ろしするロボットシステムや半自動荷降ろし装置は、荷降ろしにかかる時間を短縮し、労働者の作業環境の改善により人手不足の解消を実現しています。さらにはレイアウト変更を容易に行える伸縮自在の「ジャバラ式の伸縮コンベヤ」は、トラックヤード周辺の荷捌き場でスペースを有効利用できる手軽な搬送装置として物流センターで多数使われています。

また、航空業界向けには国内初の空港設備「手荷物自動積み付けロボット」を納入するなど、様々な搬送機器を組み合わせることにより、効率的に、より安全に作業ができる環境、「ホワイト物流」の推進に今後とも貢献していきます。

作業者の安全性を向上

カーボンニュートラルに向け、装置の電動化による省エネを推進すると同時に、安全性を追求した装置を展開しています。例えば、作業者がローラ間に挟まれたり巻き込まれたりした際、ローラそのものの回転が止まり怪我を防止する「セーフティローラフロー」の開発や、万が一リフトのテーブルが落ちた際、作業者の挟まれを防ぐため、急激な落下を防止するリフトなど、工場内の安心・安全を考えた装置の提供をしています。物流業界に限らず、製造業における生産工程内での搬送機器としても幅広く対応していきます。

クリーンなハンドリング

液晶パネルの搬送・ハンドリングで培ったクリーン搬送技術により、環境工業用クリーンルーム、バイオケミカル、食品に至るまで、衛生面や静粛性を確保し、ダストを極力出さない搬送・ハンドリング機器を展開しています。



万一の巻き込まれ時に回転が止まる
セーフティローラフロー



デバンダ仕分およびパレット積み付け作業

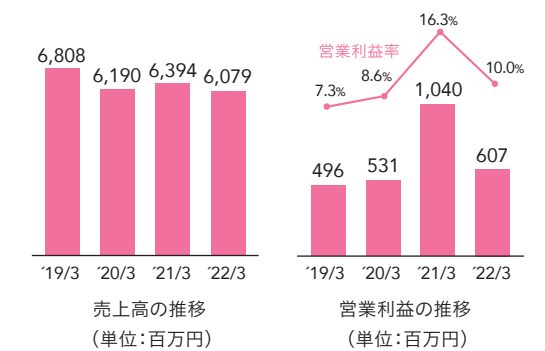


自動積み付けロボット

2021年度の業績

売上高は、物流搬送システムの減少の影響により、前期比315百万円減少の6,079百万円(同4.9%減)となりました。物流業界向けコンベヤは通販需要が堅調に推移しましたが、自動車業界や工作機械向けにおける需要に対して半導体不足やウクライナ問題等の影響等もあり、営業利益は同432百万円減少の607百万円(同41.6%減)となりました。

なお、受注高は同355百万円増加の6,473百万円(同5.8%増)、受注残高は同428百万円増加の2,055百万円(同26.3%増)となりました。



特機事業



事業内容

特機事業が担うのは、世の中の環境変化に対応した事業領域の拡大に向け、オンリーワンの技術を武器に新しい事業へ挑戦し続けることです。カーボンニュートラルなど世界的な環境保護への取り組みが進む中、これまでに培ってきた既存技術に新たな技術を付け加えることで、新事業分野を確立し、「クリーン」「精密」「省エネ」「電動化」などをキーワードに、グローバルな視点で事業を展開しています。

同事業の商品は、生産現場だけでなく、遊園地の乗り物を動かしたり、ビルの揺れを抑えたり、電気自動車用部品の製造工程など様々な場面で使われ、省エネの推進や温室効果ガスの削減に役立っています。

また、航空宇宙業界や医療業界をターゲットとするセラミックス事業、有機EL業界向けの計測事業、今後需要が高まるロボット業界には力覚センサ、さらに介護業界を主眼に置いた排泄検知システムと、社会のニーズに合った事業の展開を推進していきます。

リスク

- 急速な技術革新に対応した製造プロセス変更による市場の需要喪失
- ターゲットである成長市場に対する競合メーカーの増加による競争激化

機会

- 省エネニーズの高まりによる精密・小型の電動機器の需要増加
- EV市場の拡大や、二次電池および次世代電池の普及
- 技術の融合による、新市場創出

中期経営計画1/3を経過して 主な取り組みおよび進捗

カーボンニュートラルへの取り組み

中期経営計画のスローガンとして、「カーボンニュートラル実現への貢献」を掲げ、世界的な環境保護への取り組みにより求められている「クリーン」や「省エネルギー」という方向性に対して、特機事業のキーワードである「電動化」を適用し、展開を図っています。

特に、自動車産業では急激なEV化が進行しており、その流れへの対応が不可欠です。主要商品であるサーボシリンダは、精密・小型を特徴とし、従来の油圧や空圧を動力源とする機器から省エネが実現できる電動機器への置き換えにより、カーボンニュートラル実現に貢献しています。

リチウムイオン電池向け

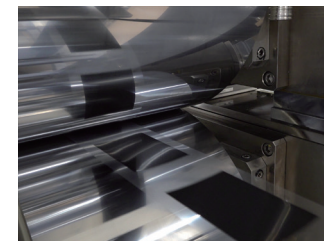
全固体電池電極の緻密化工程向けに開発した高圧電動ロールプレスは、ロール幅の拡大や加圧力の向上により、現在主力である液系リチウムイオン電池の製造用途で採用いただいております。2022年3月期の売上を牽引しています。電動駆動のメリットをPRすることで、更なる拡販を図ってまいります。

パワーデバイス市場への深耕

電気特性検査装置においては、車載インバータの重要基幹部品のパワー半導体チップにターゲットを絞ってきましたが、検査対象を後工程であるパワーモジュール～インバータ本体まで拡大する事ができました。今後は、社内に検証機を導入し、開発や課題解決の期間を短縮できる環境を整備し、パワーデバイス市場への展開を強化していきます。

セラミックス3Dプリンターの展開

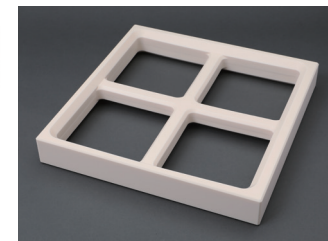
セラミックス事業においては、従来から行ってきた大きな構造材部品製造に加え、フランスの3Dセラム・シントー社の3Dプリンターによる航空宇宙、生体材料、半導体製造装置部品向けなど高機能部品への展開を行ってきました。今後は、量産向けや材料の多様化対応など、セラミックス3Dプリンターの事業領域を拡充し、事業の拡大を図っていきます。



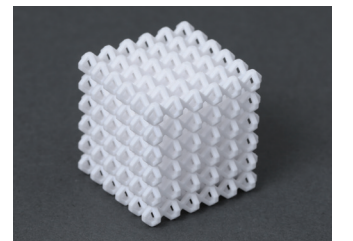
リチウムイオン電池の製造イメージ



サーボシリンダ



四直角マスター(セラミックス製)

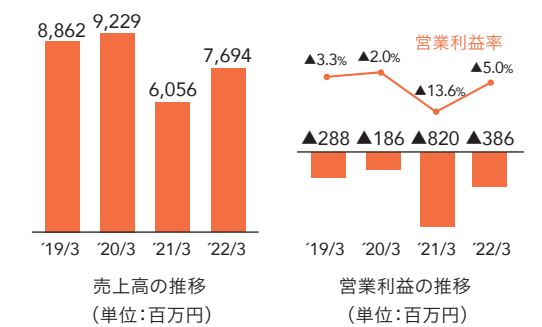


セラミックス3Dプリンターを活用した複雑形状部品

2021年度の業績

売上高は、車載向け二次電池市場に対して新商品の高圧ロールプレスが好調により前期比1,638百万円増加の7,694百万円(同27.1%増)となりました。営業損益は、増収に伴う赤字縮小により386百万円の損失(前期は820百万円の損失)となりました。

なお、受注高は前期比3,421百万円増加の9,375百万円(同57.5%増)、受注残高は同1,394百万円減少の5,897百万円(同19.1%減)となりました。



成長への投資

少子高齢化、人々の価値観やライフスタイルの変化、情報技術の進展など、さまざまな環境変化に伴い、市場のニーズは大きく変わってきています。成長への投資では、「成長市場に向けての新しい技術」と「これまでに培ってきた強み」の2つの観点から、市場に貢献できる新技術・新商品の開発を進めています。

当社グループの「成長への投資」は、働く人の快適さや安全につながるもの、人手不足を解消するもの、人の健康寿命に関わるものの、さらには地球環境やエネルギーに配慮するものなど、多岐にわたって進化を続けています。

自動化・ロボット分野

ZYXer®(ジクサー)は三次元空間における縦・横・高さ方向の力と、その方向を中心に回転する力を同時に計測できる力覚センサです。

ロボット産業は少子高齢化による労働力の減少・作業負荷の増大への対応や、品質や生産性の更なる向上の必要性から今後ますます成長が期待されています。ロボットが人と同じ作業を行うためには人間のような感覚を認識するセンサが必要となりますが、ZYXer®を取り付けることによってロボットに力の感覚を持たせることが可能となります。既に国内主要ロボットメーカーには標準採用またはオプション採用されています。今後もものづくり現場の自動化や省力化に向けてロボット関連事業の更なる拡大を図ってまいります。

ZYXer®



床分野

「新東のコンクリート磨き床」はコンクリート表面を研磨し、無機系の薬剤を含浸させて仕上げる工法で、石油由来の樹脂や接着剤の使用量を軽減し、打設したコンクリートを直接活用する環境に配慮した床施工です。

全ての人が生活する上で不可欠となる床に注目し、環境面における優位性に加え、耐摩耗性が高く、剥離が発生しないことによる生産性や安全性の向上、維持管理の容易さによるランニングコストの低減が魅力となります。

床施工の技術提供、施工機材販売及び施工対応で、お客さまの床に対するお困りごとの解決、市場拡大を行っており、工場だけでなく、事務所、店舗、ガレージ等へも採用頂いており、今後も更なる事業展開を進めてまいります。



介護分野

ウェアラブル型の排泄センサ「Aiserv®排泄検知システム」は、排泄物の有無を検知するセンサです。

要介護の高齢者で排泄困難者、便意を表現できない方が多く見られます。三大介護の一つである排泄介助については介護職員の負荷が大きく、清潔で安全な排泄ケア環境の実現が求められています。また、このシステムの導入により、被介護者はケアを迅速に受けられるようになる為、皮膚トラブルの軽減や、生活の質(QOL)の向上も期待されます。

本製品は主に介護施設向けに展開しており、おむつ内側に装着した排泄センサが被介護者の排泄(便)を感知し、介護職員へ無線通信でリアルタイムにお伝えします。介護職員は、排泄情報をリアルタイムで知ることができ、排泄ケアの業務負担軽減につながると期待しています。

排泄検知システム

Aiserv®



医療分野

アイソレーターは外部環境や人から完全に隔離されたクリーンな無菌空間を提供する設備です。

注射剤、点滴液などのように人体に直接注入するバイオ医薬品や細胞培養など再生医療に向けては、完全な無菌状態であることが求められます。

(株)エアレックスは専門メーカーとして、封じ込め技術、無菌空間を実現するための除染(滅菌)技術で、医薬品メーカー、研究機関へ、アイソレーターを製作、納入しています。

今後も、モノづくりを含めた、製薬向けの事業として基盤構築を進めています。



インキュベータ



食品分野

金属検出機 Tecnoeye®(テクノアイ)は、直接的な健康危害を及ぼす金属製異物を検出するための検査装置です。食品業界において、異物混入は、事業主さまとお客さまの信頼関係を維持するための大きな課題となっています。世界初の磁気バイアス型磁力線検出方式技術により、従来誤検知の要因となっていた導電性を有す包装材や製品状態においても高精度に金属異物の検出が可能です。今後も食品ロスや循環型社会の実現など変化するお客さまの課題に対し、確かな検査技術とサポートにより、くらしの安心を支えるものづくりとして、信頼と安全に貢献してまいります。



金属検出機 テクノアイ
tecnoeye®

アフターサービス

当社はお客さまの「設備を止めない」をアフター事業の信念として、安心して当社設備をご愛用いただくための体制を構築しております。全国に34の営業所・代理店・グループ販社を配置し、少しでも近くでお客さまの操業を見守っております。また、お客さまの設備を止めないサービスとして「sinto SUPPORT SYSTEM®」を提供しています。

「sinto SUPPORT SYSTEM®」は、故障が起こる前に対応する予防保全と故障が発生した後の早期復旧をする事後保全に分かれます。さらに、お客さまのお困りごとを解決するメニュー体系で構成しており、お客さまオペレーターを支援する「OpeAssist™」、お客さま保全技術者を支援する「ProAssist®」、緊急時の復旧支援を行う「iAssist®」の3つとなっております。

デジタル技術の活用では、設備故障の予兆や稼働履歴、さらにサイクルタイム分析を行うIoT技術により“見える化”を実現しています。また、リアル技術としては、当社の設備メーカーとしての診断員が設備の点検・調整・修理等を行うことで、設備を止めない技術をお客さまの現場で展開しております。

このデジタルとリアルの融合で、素早く対応する体制を構築し、安心して当社の設備を使用していただけるアフター事業推進の環境の整備に努めています。



sinto SUPPORT SYSTEM®

お客さまオペレーターの支援

予防保全

OpeAssist™

点検

日常から年次まで
点検作業を
効率化

監視

IoTのチカラを
使って、設備を
見える化

教育

正しい点検知識を
身に付け、設備を
安定・長期稼働

お客さま保全技術者の支援

予防保全

ProAssist®

診断

プロによる診断で、
重大危機
を回避

分析

部品単位での、
生産計画を
サポート

測定

定期測定で、
いつでも良好な
材料状態を維持

緊急時の復旧支援

事後保全

iAssist®

遠隔支援

迅速対応で、
設備停止時間を
最小化

保管

データを保管して、
もしものときでも
安心復旧

お届けする価値

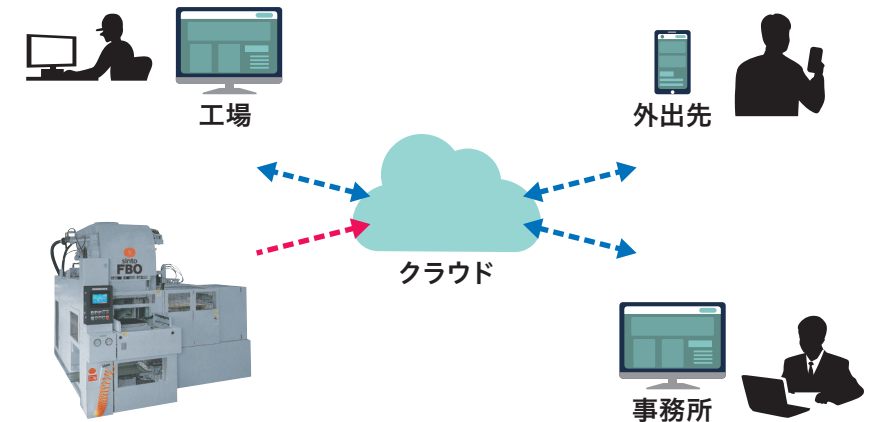
— お客さまへお届けする価値 —

不良低減

いつでも
どこからでも

工場の生産を
止めない

レポートの
自動作成



サポートネットワーク

「One Global Sinto」を海外展開の基本理念に、現在、世界16ヶ国・地域にグローバルネットワークを展開しています。今後、ますますボーダレスになる中、グローバルネットワークを更に進化させていき、その国で「すぐに対応し、お客さまのよき相談相手になる」を理念に、お客さまのもののづくりをサポートしています。

